

概要版

# 徳島県教育振興計画

## 第3期



平成30年3月  
徳島県教育委員会

# 徳島県が目指す教育



## 基本方針

「徳島ならでは」の教育により、大きな夢や高い目標を持って、困難にぶつかっても挑戦し続け、未来を切り拓いていく、本県の宝である「人財」の育成を目指します。

## とくしまの未来を切り拓く、夢あふれる「人財」の育成

### 「人財」の具体像

- 社会のグローバル化、情報化、少子高齢化など、社会情勢がめまぐるしく変化する時代において、様々な課題の解決に向けて、新たな視点や発想に基づく価値を創造し、自らの行動により、未来を切り拓いていく人財
- 本県の豊かな自然や伝統文化、新鮮で安全・安心な食材、さらには、全国屈指のブロードバンド環境など、「可能性の宝庫・徳島」の魅力を実感し、徳島に誇りを持つとともに、多様な価値観を理解する人財
- 夢を抱き、その実現に向け、失敗を恐れず、果敢に挑戦する情熱あふれる人財
- 地域や人ととのつながりを大切にし、生涯を通じて学び成長し続けながら社会に貢献する人財



## 重点項目

基本方針に掲げる人財を育成するため、あらゆる分野・世代の教育力を結集し、「徳島ならでは」の特色あふれる未来志向の教育施策を積極的に推進します。

### I 地方創生から日本創成へ！「徳島ならでは」の教育の推進

#### 推進項目

- ▶ 個性、可能性を最大限に伸ばす教育の推進
- ▶ 人口減少社会に挑戦する「徳島モデル」の学校づくり
- ▶ 災害を迎える防災教育の推進

### II 一人ひとりが輝く！ 徳島の未来を育む教育の推進

#### 推進項目

- ▶ 確かな学力、豊かな心、健やかな体の育成
- ▶ 学校・家庭・地域が協働で取り組む教育の推進
- ▶ 時代の潮流を見据えた学びの推進

### III グローバル社会で活躍！ 徳島から世界への扉をひらく教育の推進

#### 推進項目

- ▶ 徳島を愛する心の育成と「とくしま回帰」の促進
- ▶ 世界に羽ばたくグローバル人財の育成
- ▶ 国際舞台で躍動するアスリート、アーティストの育成

# 計画の基本的事項

## 策定の趣旨

徳島県教育委員会では、平成20年10月に「徳島県教育振興計画」、平成25年3月には「徳島県教育振興計画(第2期)」(「阿波っ子みらい教育プラン」)を策定し、本県の実情を踏まえた各種教育施策の推進に、総合的かつ計画的に取り組んできました。

この間、グローバル化や情報化の進展、少子高齢化の進行など、社会情勢はめまぐるしく変動し、人口減少社会への対応や、地方創生の原動力となる将来を担う「人づくり」が喫緊の課題とされるなど、教育を取り巻く環境は急速に変化しています。

本県では、平成27年12月、知事と県教育委員会が緊密に連携することにより「徳島教育大綱」を策定し、教育施策の根本となる基本方針を定めました。これに伴い、大綱の行動計画として位置付けられた「徳島県教育振興計画」について、第2期計画の成果と課題を踏まえつつ、大綱で明確にされた本県教育の基本方針に基づき、改めて今後講ずるべき施策等を定めるものです。

## 基本的性格

この計画は、「徳島教育大綱」の行動計画としての位置付けであるとともに、教育基本法第17条第2項の規定に基づき定める本県教育の振興のための施策に関する基本的な計画です。

また、県政運営指針である「新未来『創造』とくしま行動計画」の教育分野についての計画と整合性を図りつつ策定するものです。

## 計画期間

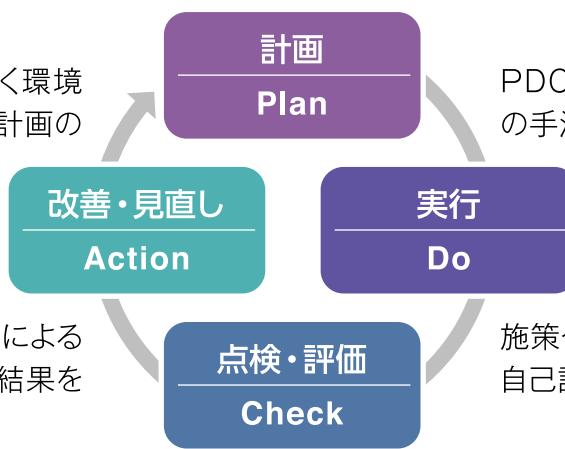
平成30(2018)年度から平成34(2022)年度までの5年間とします。

## 推進体制

県と市町村、学校、家庭、地域、NPO、民間事業者、その他関係機関等の多様な主体が連携・協働することにより、本県総ぐるみで次代を担う子どもたちの教育に取り組みます。

## 進行管理

評価結果や教育を取り巻く環境の変化に応じて、毎年度、計画の改善・見直しを行います。



PDCAサイクルによる政策評価の手法を活用します。

施策や事業の検証と進捗状況の自己評価を行います。



# 計画全体のイメージ図及び主要施策等の概要

## 徳島県教育振興計画(第3期)



県、市町村

基本方針

学校

とくしまの未来を切り拓く、  
夢あふれる「人財」の育成

重点項目I

### 地方創生から日本創成へ! 「徳島ならでは」の教育の推進

- <推進項目①> 個性、可能性を最大限に伸ばす教育の推進
  - 多様で特色ある能力・個性を伸ばす教育の推進
  - 障がいによる困難を克服し、個性輝く自立を支援
  - 次代を生きぬくキャリア教育の推進
- <推進項目②> 人口減少社会に挑戦する「徳島モデル」の学校づくり
  - 徳島発の小中一貫教育の推進
  - 全国屈指の光プロードバンド環境を活用した教育の推進
  - 二地域居住を加速する学校間移動の実現
- <推進項目③> 災害を迎へ撃つ防災教育の推進
  - 防災知識の普及・啓発等の推進
  - 学校を核とした地域防災力の向上
  - 地域防災を担う人財の育成

重点項目III

### グローバル社会で活躍! 徳島から世界への扉をひらく教育の推進

- <推進項目①> 徳島を愛する心の育成と「とくしま回帰」の促進
  - 郷土愛を育む教育の推進
  - 大学と地域の連携による「知のフィールド」の拡大
  - 若者による未来志向のアイデアの創出
  - 「とくしま回帰」の促進
  - 世界遺産登録への挑戦
- <推進項目②> 世界に羽ばたくグローカル人財の育成
  - 徳島発、世界を体感できる環境づくり
  - 科学の魅力を実感し、世界に挑戦
- <推進項目③> 国際舞台で躍動するアスリート、アーティストの育成
  - 世界で活躍する「スポーツ王国とくしま」づくり
  - 世界に輝く「あわ文化」の創造・発信

放課後子供教室



地域



赤ちゃん授業



とくしま親なびげーたー養成講座



家庭

父親力 ルネサンス推進講座



企業見学



関係機関

# 重点項目I 地方創生から日本創成へ！「徳島ならでは」の教育の推進

■主要施策・主要事業の概要	□成果指標	現状値 (平成29年度)	目標値 (平成34年度)
<b>〈推進項目①〉個性、可能性を最大限に伸ばす教育の推進</b>			
■学力分野のリーディングハイスクールの効果を最大限に發揮できる、本県初の中等教育学校を開校します。 □本県初の中等教育学校の開校		準備	(H32) 開校
■全国、そして世界を目指した徳島ならではの取組や研究活動を支援し、特色ある教育活動のレベルアップとグローバル人材の育成を図ります。 □スーパー・オーナリーワンハイスクール事業実施校のうち、各分野の全国大会・コンクールでの入賞数	3事例	3事例	
■徳島ウインターキャンプを通して、将来的に社会の各分野を牽引していく人間力を備えた「Super Student」の育成を図ります。 □主要大学(スーパーグローバル大学)進学者数	(H28卒業生) 297人	340人	
■ビッグデータ等を活用したICTによる個に応じた学習を推進し、学習活動の充実を図ります。 □ビッグデータ実証事業における活用者数	140人	600人	
■福祉的就労が想定される生徒の作業学習等を含め、生徒の働きたい想いに応える就労支援をさらに充実します。 □「とくしま特別支援学校技能検定」の受検者数(累計) □県立特別支援学校高等部卒業生のうち、就職を希望する生徒の就職率	512人 100%	2,400人 100%	
■学識経験者等と連携し、特別支援学校教員の専門性向上に取り組みます。 □「発達障がい教育・自立促進アドバイザーチーム」と連携した行動改善の事例数(累計)	74件	100件	
■生徒の社会的・職業的自立に向けた基礎的な能力の向上や勤労観・職業観の育成を図るため、組織的・体系的なキャリア教育を推進します。 □高校におけるインターンシップの実施率(全日制・定時制)	97.6%	100%	
■職業に関する専門学科や総合学科で学ぶ高校生が、各大学科や学校独自の特色ある教育活動について、広く県民にアピールします。 □高校生産業教育展における来場者数	1,850人	2,100人	
<b>〈推進項目②〉人口減少社会に挑戦する「徳島モデル」の学校づくり</b>			
■小規模化する学校を存続させ、かつ教育の質を保障する徳島モデルの小中一貫教育を全県に展開します。 □学校分散型「チェーンスクール」実施地域数(累計) □学校一体型「パッケージスクール」実施地域数(累計)	6地域 2地域	9地域 4地域	
■テレビ会議システム等のICTを活用した、公立学校での遠隔指導・授業や交流学習、研修、会議等を推進します。 □高校での双方向遠隔授業・講座の実施回数 □テレビ会議システムの利用回数	15回 550回	28回 650回	
■タブレット端末や電子黒板等のICT活用に関する実証研究を行い、その効果の検証及び普及・啓発を行います。 □電子黒板を活用した公開授業の実施回数(累計)	5回	50回	
■地方と都市、双方の視点に立った考え方のできる人材を育成する「デュアルスクール」のモデル化に取り組みます。 □「デュアルスクール」モデル化に向けてのモデル試行実施回数(累計)	7回	36回	
<b>〈推進項目③〉災害を迎える防災教育の推進</b>			
■教職員研修や地域、関係機関との連携を通じ、教職員の防災に関する意識を啓発し、防災教育に関する指導力の向上を図ります。 □県立学校への防災士資格を有する教職員の配置率 □防災人材育成センター等と連携した教職員のスキルアップ	100% 推進	100% 推進	
■中学・高校生の防災士資格取得を支援し、児童生徒の防災対応能力の向上と地域防災の担い手育成を図ります。 □中学・高校生防災士養成数(累計)	360人	900人	
■県立学校が中核的な避難所として機能するよう、必要となる施設を整備します。 □体育館等におけるトイレの洋式化率	28%	100%	
■国登録記念物「南海地震徳島県地震津波碑」等の災害記録を普及・啓発し、防災意識の向上を図ります。 □地域に残された災害記録の普及・啓発	準備	推進	

## 重点項目Ⅱ 一人ひとりが輝く！徳島の未来を育む教育の推進

主要施策・主要事業の概要	成果指標	現状値 (平成29年度)	目標値 (平成34年度)
<b>〈推進項目①〉 確かな学力、豊かな心、健やかな体の育成</b>			
■すべての学校・園に学力向上検討委員会を設置し、学力向上推進員を中心に児童生徒の学力向上を図るとともに、各学校の取組を情報発信します。 □「全国学力・学習状況調査」における県平均正答率	全国平均正答率以上	全国平均正答率以上	
■子どもの読書活動推進計画に基づき、県内全域で読書習慣の定着を図ります。 □一日10分以上読書(新聞等を含む)をする児童生徒の割合	小5／89% 中2／84%	94% 89%	
■学校・家庭・地域・専門機関等が連携した取組を実施し、児童生徒の体力・運動能力の向上を図ります。 □「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」において全国平均を上回る種目数	11種目	17種目	
■県産の安全・安心な食材を活用した学校給食の推進や食に関する指導の充実、発達段階に応じた望ましい食習慣の形成のために、栄養教諭の配置を拡充します。 □小・中学校への栄養教諭の配置人数	57人	64人	
■就学前教育と小学校教育とのつながりを円滑にするため、幼稚園等と小学校の適切な連携の在り方について研究を進め、成果を普及します。 □幼稚園等と小学校の教員間で情報交換等の合同会議や研修会を行う割合	87%	100%	
■いじめや不登校等の問題にきめ細かに対応するため、スクールカウンセラーを活用した教育相談体制の充実を図ります。 □スクールカウンセラーの配置校数(拠点校)	78校	83校	
■中学生・高校生及び特別支援学校生の交流を通じ、様々な人権問題解決の実践力を身に付けたリーダーの育成に努めます。 □中・高生による人権交流集会参加者の満足度	75%	85%	
■「とくしま教員育成指標」を踏まえた研修計画を定め、総合教育センターを中心にキャリアステージに応じた研修を実施します。 □「とくしま教員育成指標」を踏まえた研修受講者の満足度	準備	90%以上	
<b>〈推進項目②〉 学校・家庭・地域が協働で取り組む教育の推進</b>			
■子どもたちが放課後や週末等に多様な学びや体験活動及び地域住民との交流体験を行う環境づくりを推進します。 □放課後や週末等における体験活動の実施率	80%	100%	
■道徳教育の充実に引き続き取り組むとともに、家族と一緒に話し合うなど家庭や地域と連携して道徳教育を推進します。 □道徳の時間の授業参観を実施している学校の割合	小学校／95% 中学校／81%	100% 94%	
■家庭教育に関する研修会等で中核となる「とくしま親なびげーたー」を養成し、県内の各園・学校等で開催されるワークショップ等に派遣します。 □「とくしま親なびげーたー」の派遣者数	85人	100人	
■生涯学習情報システムの情報を充実することにより、多様な学習機会を提供します。 □生涯学習情報システムへのアクセス件数	99,000件	104,000件	
■文化の森総合公園各文化施設のさらなる利便性向上に努め、魅力ある企画展やイベントを開催することにより、文化・芸術の感動や体験の場を提供します。 □文化の森総合公園各文化施設入館者数総計(累計)	2,125万人	2,525万人	
<b>〈推進項目③〉 時代の潮流を見据えた学びの推進</b>			
■平和で民主的な国家・社会の形成者としての資質・能力を育むため、主権者教育を学校全体の取組とし、体験的・実践的な学びを重視した主権者教育を推進します。 □主権者意識を高める教育の充実のための出前講座の実施校数	42校	52校	
■自立した消費者の育成に向けて、発達段階に応じた系統的・体系的な消費者教育を取り組むとともに、学校と地域が一体となった実践的な消費者教育を推進します。 □消費者教育研究指定校数(累計)	34校	59校	
■エシカル消費に関する教育の普及・拡大を図るため、県内すべての公立高校にエシカルクラブを設置します。 □公立高校におけるエシカルクラブの設置率	33%	100%	
■生命や自然を大切にし、地域の環境を守るために行動できる、郷土を愛するモラルの高い児童生徒の育成を目指した「新学校版環境ISO」の取組を推進します。 □「新学校版環境ISO」認証を取得した学校の割合	84%	88%	
■農工商設置高校等の学校間連携・生徒間協働による6次産業化教育を推進します。 □6次産業化商品のプロデュース数(累計)	7件	22件	

### 重点項目Ⅲ グローバル社会で活躍！徳島から世界への扉をひらく教育の推進

■主要施策・主要事業の概要	□成果指標	現状値 (平成29年度)	目標値 (平成34年度)
<b>〈推進項目①〉 徳島を愛する心の育成と「とくしま回帰」の促進</b>			
■「あわ文化」を次世代に伝承し、ふるさと徳島の魅力を県内外に発信できる人材を育成します。 □「あわ文化検定」の受検者数		931人	1,050人
■児童生徒が郷土の伝統文化や文化財への理解を深めることにより、ふるさと徳島を愛する心を育みます。 □「ふるさと文化人材バンク」を活用し、あわ文化学習に関する講師を派遣した学校数		60校	93校
■地域活性化の核となり得る埋蔵文化財をはじめとした文化財の魅力、素晴らしさを広く発信します。 □埋蔵文化財総合センター利用者数		9,200人	9,300人
■「四国八十八箇所霊場と遍路道」の世界遺産登録の推進に向けて、国史跡の追加指定等を計画的に進めます。 □札所寺院の国史跡追加指定に向けた意見具申		—	(H30) 2力寺
■「板東俘虜収容所関係資料」のユネスコ「世界の記憶」登録に向け、機運醸成、魅力発信を推進します。 □「世界の記憶」登録に向けた取組の推進		準備	推進
<b>〈推進項目②〉 世界に羽ばたくグローカル人財の育成</b>			
■「グローカル人財」の育成に向け、新しい教育課程に対応した英語教育の充実を図るため、小学校英語専科教員の配置を推進します。 □小学校英語専科教員の配置人数		10人	16人
■小学校英語教科化に伴う専門性向上のための研修の充実を図ります。 □英語教育充実のための研修における小学校教員の受講者数(累計)		436人	1,580人
■英語4技能の総合的でバランスのとれた育成に取り組み、児童生徒の英語力向上を図ります。 □求められる英語力を有する生徒の割合 (中学校3年生 英検3級程度以上)(高等学校3年生 英検準2級程度以上)		中3／47% 高3／41%	65% 65%
■小・中・高等学校の発達段階に応じて、生きた英語に触れる機会を創出します。 □児童生徒が世界を体感する英語体験プログラムへの参加者数(累計)		154人	1,054人
■持続可能な社会の発展に貢献し得るグローバル・リーダーの育成を図ります。 □海外の学校等との交流校延べ数(中学・高校)		22校	32校
■学校へ日本語講師を派遣したり、指導者研修会を開催したりすることにより、帰国・外国人児童生徒等に対する教育支援を推進します。 □学校への日本語講師の派遣		推進	推進
■国際科学オリンピック講習会等を通じ、理数系の学習を牽引する高校生を育てます。 □国際科学オリンピック講習会の参加者数		220人	245人
<b>〈推進項目③〉 国際舞台で躍動するアスリート、アーティストの育成</b>			
■2022年に四国で開催予定の全国高校総体に向け、各競技の底辺拡大を図るとともに国際大会や全国大会で活躍するトップアスリートの育成・強化を図ります。 □県高等学校総合体育大会生徒参加率 □全国高等学校総合体育大会等の入賞(団体・個人)数		47.2% 47団体・個人	55.0% 50団体・個人
■スポーツ分野のリーディングハイスクールである鳴門渦潮高校スポーツ科学科の施設・設備を活用し、本県スポーツ科学の普及・振興を図ります。 □全国大会等での鳴門渦潮高校の入賞(団体・個人)数		5団体・個人	5団体・個人
■文化芸術分野のリーディングハイスクールである名西高校の成果を発信し、本県文化芸術の普及・振興を図ります。 □全国コンクール等での名西高校の入賞(団体・個人)数		61団体・個人	75団体・個人
■伝統文化や文化財の継承・保存に取り組む若い世代の増加に努め、次代の担い手を育みます。 □人形浄瑠璃伝承教室の参加者数(累計)		1,658人	1,858人
■中学・高校生による芸術文化活動について、その取組成果の発信を支援します。 □近畿高等学校総合文化祭の充実		徳島大会準備	(H30) 徳島大会開催
■優れた芸術作品に直接触れ合う機会を設けるとともに、幅広い世代を対象とした普及行事を実施し、「あわ文化」の担い手を育みます。 □文化の森総合公園文化施設普及事業の開催回数		270回	270回以上

※掲載している成果指標は、全143項目の中から抜粋したものです。

# Tokushima Prefectural Education Promotion Plan Stage Three



**Tokushima Prefectural  
Board of Education**